

日本周産期・新生児医学会
理事長 田中 守先生

抗 SS-A 抗体陽性妊娠の診療ガイドライン(案) に関するパブリックコメントのお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

抗 SS-A 抗体は、主として膠原病患者に認められる自己抗体ですが、無症候の健常者にも約 1%に検出され、決して稀ではありません。本抗体を保有する女性の児に発症する先天性心ブロックは、頻度は稀ですが重篤な病態であり、臨床現場から診療指針が求められてきました。平成 24 年に「抗 SS-A 抗体陽性女性の妊娠に関する診療の手引き」が作成されてから 10 余年を経て、測定法の変遷や臨床経験の蓄積を踏まえた新たな指針として「抗 SS-A 抗体陽性妊娠の診療ガイドライン」(案) がまとまりました。

内容の妥当性、貴学会領域との整合性、そして臨床現場での実効性をより確かなものとするため、貴学会の皆様からパブリックコメントを賜りたく、お願い申し上げます。

下記の Google form のリンクよりガイドラインの内容をご確認いただき、ご意見がございましたら、ご入力いただけますと幸甚です。

末筆ながら、貴学会のますますのご発展と、先生方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

Google Form のリンク <https://forms.gle/qcfaj6RzrXKQZwLi9>

回答締め切り：2025 年 12 月 10 日 (水)

2025 年 11 月 27 日

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
「自己免疫疾患に関する調査研究 (自己免疫班)」(代表：渥美達也)

抗 SS-A 抗体陽性妊娠の診療ガイドライン作成委員会

代表者：村島温子 (埼玉医科大学リウマチ膠原病科 客員教授)

連絡先：ガイドライン作成委員会事務局 坪井洋人 (筑波大学医学医療系膠原病リウマチ
アレルギー内科学 准教授)

Hiroto-Tsuboi@md.tsukuba.ac.jp